

		<p>3 困難や不安を抱える女性への支援の取組について</p>	<p>本年6月、国において策定された「女性活躍・男女共同参画の重点方針2021」には、重点的に取り組むべき事項として、「コロナ対策の中心に女性を」が掲げられ、ひとり親の職業支援や「生理の貧困」への支援などが示されている。</p> <p>(1) 「生理の貧困」に対する支援として、配布窓口での生理用品の無償提供や小・中・義務教育学校において女子トイレへ生理用品が配置されているが、実施状況は。</p> <p>(2) 「ひとり親自立促進パッケージ」(資格取得のために養成機関で修業する際の生活費支援を行う高等職業訓練促進給付金の給付対象を拡充し、住居の借りに必要な資金の償還免除付きの無利子貸付制度を創設するもの)の利用状況及び周知方法は。(従来の高等職業訓練促進給付金の利用状況も併せて伺う)</p> <p>(3) コロナ禍において、DVも含め女性の相談件数が全国で増加しているが、本市の現状は。また、相談体制を充実する考えは。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
2	<p>西口 純生 12月7日(火) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>川東地域のまちづくり、基幹道路整備について問う。</p> <p>(1) 宇津根橋の竣工を間近に控えているが、当初計画の保津川右岸堤防から一直線に駅北に入る道路整備が、橋を架けられない状況から一向に動かない。アユモドキの生息産卵の実証実験の状況はどうなのか。その経過と理由について、市長の見解は。</p> <p>(2) 専門家は地元の私たちに、アユモドキの保全とまちづくりを共生させることを約束している。亀岡市は実証実験を行い、その結果を確認すべきであると考えるが、市長の見解は。</p> <p>(3) 地域住民の負託に応え、確かな結果を見て橋を架ける判断をするべきである。市長の見解は。</p> <p>亀岡市の保育行政について問う。保津保育所の老朽化に伴い、地元要望で以前から移転の提案がされてきた。これを契機に、子どもの安全と子育て支援の充実をさらにレベルアップする保育行政へと転換する必要があると考える。</p> <p>(4) 待機児童数は現在、何人か。また、移転後の保津保育所の収容人数は。</p> <p>(5) 新設予定の保育施設の概要について、運動場、駐車場の配置と保育士の確保はどのように考えているのか。</p> <p>(6) 当初、水道施設の必要性について声が上がっていたが、保育所移転が円満な形で進められるのか。</p> <p>(7) 身近にある文化センターの厨房設備を活用した、作ることの喜びを感じる新しい保育行政についての見解は。</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 桂川改修促進事業について</p>	<p>遠隔地の空き家・過疎化対策と地域の活性化について問う。</p> <p>(8) 特に畑野町などの遠隔地の空き家の増加、人口減少の要因を、どのように考えているのか。</p> <p>(9) 交通の利便性も大きな問題と聞いている。亀岡市の考える対策について見解は。</p> <p>(10) 地域住民から様々な提案を募り、地元の知恵も借りながら協力体制の強化を図り、地域の活性化を推進する考えは。</p> <p>桂川改修促進期成同盟の今後の要望項目に、次のとおり、3項目を付加してはどうかと考える。</p> <p>(1) 下流の嵐山周辺における渡月橋上流の一の井堰の可動式改修整備を要望の優先項目に挙げるべきと思うが、見解は。</p> <p>(2) 大型排水ポンプ車の配備要望について、排水能力的に最大限の国土交通省保有車と同じ、毎分30トンの最大排水量が見込める能力を求めるべきであると思うが、見解は。</p> <p>(3) 請田神社前の河道掘削工事について、今から検討し準備するための調査費を要望すべきと思うが、見解は。</p>	<p>市長 所管部長</p>
3	<p>赤坂マリア 12月7日(火) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 臨時駐車場の増設について</p> <p>2 市職員定数について</p>	<p>臨時駐車場の増設について問う。</p> <p>(1) サンガのJ1昇格のため、府外からの車両が増えると考えますが、新たな駐車場の増設を考えているのか。</p> <p>市職員定数について問う。</p> <p>(1) 現在、職員の定数は足りているのか。</p> <p>(2) 業務は増えているが、職員の増員はしないのか。</p> <p>(3) 業務に対して各部署の職員数は適正なのか。</p> <p>(4) 毎年、各部署からどのぐらいの増員要請があるのか。</p> <p>(5) 本市の人口規模に対して、職員の上限人数は決まっているのか。</p> <p>(6) 定数管理の人数は国が定めたものなのか。</p> <p>(7) 現在の定数はいつから変化していないのか。</p> <p>(8) 職員の定数管理とは。</p> <p>(9) 市立病院の職員と同様に、専門職(特に保育士)は定数に入れたいと思うが所見は。</p> <p>(10) 働き方改革とは。</p> <p>(11) 働き方改革は適正に行われているのか。</p> <p>(12) マンパワーとは。</p> <p>(13) ICTの効率化も分かるが、マンパワーがもっと必要であると思うが所見は。</p> <p>(14) 一人一人が最大限の力を発揮する研修等は行われているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>(15) 20年後には人口も減少し、財源の確保等が非常に難しい状況になると思われる中、ふるさと納税を活用して、新規職員を増員し、未来の亀岡市のために組織体制の整備を図るべきだと思うがどうか。</p> <p>(16) 簡単な受付作業等には、Pepper（ペッパー）のような感情を認識する人型ロボットを活用してはどうか。</p> <p>(17) 本市のターゲットやメインになる事業については、期間を定めて、再任用職員を含めた専門職を導入すべきであると考えがどうか。</p>	
4	<p>並河 愛子 12月7日(火) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症について</p> <p>2 保健所設置について</p> <p>3 生活保護行政について</p>	<p>世界中に感染拡大した新型コロナウイルス感染症で多くの方が犠牲になった。現在、ワクチン接種率は7割を超え、感染拡大も減少傾向にあるが、今後、第6波が起きるのではないかと危惧されている。</p> <p>(1)本市におけるワクチン接種の進捗状況はどうか。また、ワクチン接種における教訓や問題点はどうか。</p> <p>(2)3回目の接種が言われているが、今後の計画は。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を通じて、改めて保健所の役割が再認識され、本市に保健所を望む声は強い。保健所数は30年間でほぼ半減され、職員数も約3万5,000人から2万8,000人と7,000人も減少している。保健所の削減は1994年、日本共産党以外の各党の賛成多数で成立した地域保健法のもとで行われ、同法が全面的に施行された1997年度以降、全国で保健所の削減が加速し、亀岡市にあった保健所もなくなってしまった。</p> <p>(1)地域公衆衛生を担う保健所が京都府でも縮小されてきたが、コロナ禍において、今回、非常事態に対応できたのか。また、本市への影響はどうか。</p> <p>(2)保健所業務に関わって、料飲事業者や介護・福祉事業者、難病認定の届け出等は、南丹市まで行かなければならないが、市民のニーズにあった出張業務等ができているのか。</p> <p>(3)亀岡市にも保健所が必要と思うが所見は。また、京都府に対して設置の要望はされているのか。</p> <p>コロナ禍で暮らしが大変になってきている。そうした中、生活保護を必要とする人に対して速やかな対応が求められる。現在、生活保護相談に行かれた市民から亀岡市の窓口対応に対して改善を求める声が寄せられている。</p> <p>(1)2021年1月から11月までの生活保護相談、申請数、保護開始、全体の保護世帯、</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 国民健康保険料の子どもに係る均等割について</p>	<p>保護人員、捕捉率はどうか。また、5年前との比較はどうか。</p> <p>(2) 市民の相談は、カウンター越しでされることはないのか。</p> <p>(3) 就労指導はどのようにされているのか。</p> <p>(4) 被保護者の車所有について基本的な考えは。また、通院の送り迎えで車を使用する場合や仕事で使う場合はどうか。</p> <p>(5) 生活保護申請時の同行についての基本的な考えは。</p> <p>全国知事会、市長会が国民健康保険料の均等割について国費1兆円を投入して廃止を求めているが、来年度から就学前の子どもの均等割が軽減される予定である。</p> <p>(1) このことに対する所見は。</p> <p>(2) 残りの半額を本市が負担するとすれば幾らの予算が必要か。</p> <p>(3) 子育て支援策として実施すべきと思うかどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
5	<p>藤本 弘 12月7日(火) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>2 ふるさと納税30億円を目指した取組について</p> <p>3 現火葬場の雨漏り改修について</p> <p>4 亀岡運動公園プールにおけるフィッシングについて</p>	<p>新型コロナウイルス感染症も、ワクチン接種の普及により、ようやく鎮静化の兆しを見せてきているが、アフリカ等では新変異株も発見されており、全く予断を許さない状況が続く。</p> <p>(1) 亀岡市のワクチン接種の状況は。</p> <p>(2) 第6波に対する備えと対策は。</p> <p>(3) 感染後遺症やワクチン接種による副反応の相談体制は。</p> <p>(4) 3回目のワクチン接種時期と接種順位、接種会場は。</p> <p>令和2年度のふるさと納税額は23億2,993万円と、京都府下では1位、関西では7位、全国でも50位と大変健闘された。</p> <p>(1) 現在の状況と今年度の見込みは。</p> <p>(2) 特に、工夫された点は何か。</p> <p>(3) 今後の対策と目標は。</p> <p>本年7月12日、火葬場の炉前ホールの雨漏りがひどいと苦情があった。行政に伝えたが、調べて早急に直すとのことであった。</p> <p>(1) 修繕は完了したのか。</p> <p>(2) 建物の改修予定はあるのか。</p> <p>(3) 新火葬場は、いつ頃できるのか。</p> <p>本年11月、亀岡運動公園プール内にフィッシングパーク開園の案内を頂いた。プールに隣接して釣堀ができたのかと思いきや、パンフレットを見ると、流水プールや造波プールなど、全てのプールに魚を放流し、料金を支払ってプール内で釣りのできるフィッシングパークと書いてある。</p> <p>(1) 亀岡運動公園プールの設置目的は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

			<p>(2) 魚をプールに放流し、フィッシングの許可は、どこが行ったのか。</p> <p>(3) 貸出料は取っているのか。</p> <p>(4) 収益は誰のものになるのか。</p> <p>(5) 使用後の清掃と消毒は、誰がするのか。また、保健所の水質確認・衛生検査はされるのか。</p> <p>(6) 消毒と清掃費用は、どこが負担するのか。</p> <p>(7) 万一、感染症や風評被害で、プールが使えなくなった場合、誰が責任を取るのか。</p> <p>(8) 市は、亀岡運動公園プールの使用許可に当たっての契約書は交わしているのか。</p> <p>(9) 市長もオープニングに参加されているが感想は。</p>	
6	<p>石野 善司 12月8日(水) 10:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 新型コロナウイルスワクチン接種の状況と今後の展望について</p> <p>2 交通安全対策について</p> <p>3 交差点改良について</p>	<p>新型コロナウイルスの新規感染者数が急速に減少し注目されている。京都府内では、11月22日に新規感染者が0人となり、今年最少となった。京都府は、新規感染者が減少した要因として、府民のマスク着用等、感染対策の徹底や夜間の人出減少、ワクチン接種率の向上を挙げている。</p> <p>(1) 個別接種と集団接種を合わせ、2回目のワクチンの接種を希望する方への接種は完了したのか。</p> <p>(2) ワクチン接種希望者の接種率は。 海外では、行動制限緩和後のリバウンドが後を絶たず、冬に向け感染第6波が懸念されている。現在のワクチンは、接種から半年程経つと感染予防効果が弱まる。日本では12月頃に第6波が始まり、来年1月から2月頃に感染のピークを迎える恐れがあると警戒している。</p> <p>(3) 3回目接種の体制は万全か。</p> <p>(4) 今後の展望は。</p> <p>交通安全街頭啓発活動が春、夏、秋、冬と行事化し実施されている。今も「令和3年年末の交通事故防止府民運動」を実施中である。この運動の目的は、広く京都府民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣づけるとともに、府民による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることとされている。</p> <p>(1) 現状と本市の考えは。</p> <p>(2) 活動の成果は現れているのか。</p> <p>(3) 自転車の利用者に特化した安全利用推進活動を行う考えは。</p> <p>(4) 今後の課題は。</p> <p>国道9号下り王子交差点への右折レーン設置や同交差点に接続する府道王子並河線の交差点角きり等改良工事に向け、現状と本市の考えについて問う。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 巧妙化する特殊詐欺への対応策について</p> <p>5 中学校におけるスポーツクラブの活動について</p>	<p>(1) 現状をどのように把握しているのか。 (2) 本市の考えは。 (3) 今後の課題は。</p> <p>本年に入ってから、新型コロナウイルス感染症対策に便乗し、給付金や還付金があると偽った特殊詐欺被害が増えている。被害を防ぐためには、様々な詐欺の手口があることを知り、絶対に自分は騙されないといった思い込みをせず、常に備えておくことが大切である。また、詐欺被害を事前に防止するために実効性ある対応策が求められている。</p> <p>(1) 亀岡市内における特殊詐欺被害の現状は。 (2) どのような対策を講じているのか。 (3) 録音機能等を備えた電話機や装置の購入補助を行う考えは。 (4) 今後の課題は。</p> <p>中学校でのクラブ活動(部活動)は、教育課程外の教育活動として位置づけられており、その教育的意義が大きいことから、教育活動の一環として実施されている。部活動は、子どもの心と体の発達や仲間づくり、教員と触れ合う場、さらに生涯スポーツ等とつながる絶好の機会である。</p> <p>(1) 各中学校の部活動の現状は。 文部科学省とスポーツ庁は、2021年度から、公立中学校の休日の部活動の受け皿を、学校から地域へ移す準備を始めた。生徒の指導も、教師から民間の地域の人材に切り替える。全国で114の拠点校(地域)を決め、人材の育成、運営団体の確保、費用負担の検討等、実現に向け実証研究を実施する方針である。 (2) 教育長の所見は。 (3) 今後の課題は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
7	<p>三宅 一宏 12月8日(水) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡市の広報について</p> <p>2 シビックテックによる市民参加の行政について</p> <p>3 亀岡市の組織について</p>	<p>亀岡市の広報について問う。 (1) 市民や、新しく住民になられた方が亀岡市のことを知る広報はどうなっているか。 (2) 亀岡市PRガイドをつくる計画は。</p> <p>シビックテックによる市民参加の行政について問う。 (1) デジタル庁が推進しているシビックテックとはどのようなものか。 (2) 本市のシビックテックの取組計画はどうなっているか。 (3) LINEを使って、市民からの情報を共有する市があるが、本市の計画は。 (4) ホームページがリニューアルされたが、どのように変わったのか。</p> <p>本市は、細分化された組織になっている。そのため、どこへ聞けばよいか分からないといった意</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		4 職員の能力アップについて	<p>見を聞くことがある。</p> <p>(1) 本市においては、BCome+を設置し、子育ての窓口を一元化して対応しているが、他部門についての一元化の計画は。</p> <p>定年退職者の雇用について問う。</p> <p>(1) 定年退職者の再任用の状況は。</p> <p>(2) 再任用職員の仕事内容は。</p> <p>(3) 新規採用職員が再任用職員の指導を受ける体制はできているのか。</p> <p>(4) 管理職員の指導を再任用職員が行うことがよいと考えるが所見は。</p>	市長 所管部長
8	<p>長澤 満 12月8日(水) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 「亀岡市の財政状況及び今後の見通し」について</p> <p>2 新型コロナ禍を克服する地域経済の再生について</p> <p>3 環境先進都市を目指す本市の環境基本計画について</p>	<p>「亀岡市の財政状況及び今後の見通し」(本年11月22日、本議会全員協議会行政報告)は、各般の課題を記述している。その中の気がかりな記述の趣旨について問う。</p> <p>(1) 「歳出の状況」の義務的経費に関する記述の趣旨は、令和元年度と2年度に生活保護費は減少し、障がい者福祉サービス事業は年々増加する傾向であること、義務的経費全体はこの10年の間に約17億円増加し、財源不足や財政硬直化の大きな要因であることという「事実」を記述しているのか。それとも生活保護費の減少はよいこと、障がい者福祉サービス事業の増加はよくないことという「評価」を記述しているのか。「事実」の記述であっても、本市の職員や市民の意識を上記の「評価」に誘導するものではないか。</p> <p>冬場を迎えて新型コロナウイルスの「第6波」の感染拡大を防止しつつ、新型コロナ禍の影響の続く地域経済の再生を図ることが求められる。そのための課題について問う。</p> <p>(1) 新型コロナ禍対策に係る今後の中小企業の資金支援について、国・京都府等の支援施策の動向はどうであり、本市の支援施策をどう進めるのか。</p> <p>(2) 資金支援とともに、感染防止型の事業展開や需要喚起の支援について、国・京都府等の支援施策の動向はどうであり、本市の支援施策をどう進めるのか。</p> <p>(3) 観光事業は近隣や圏内の観光を端緒に徐々に回復が期待される。本市で新たな集客施設や地域資源も生かして、内需・周遊・回復志向の観光をどう進めるのか。</p> <p>本市は、令和4年度から10年間を計画期間とする第3次亀岡市環境基本計画の策定を進めている。環境基本計画推進会議における審議を尊重しつつ、いくつかの課題について問う。</p> <p>(1) 第3次亀岡市環境基本計画の趣旨、市民の意見の反映を含む策定作業の進行状況、パブ</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 地域のまちづくりに係るいくつかの課題について</p>	<p>リックコメント等を含む今後の予定は、どうであるか。</p> <p>(2) JR亀岡駅北地区に設置予定の(仮称)環境政策情報発信・交流拠点施設の準備状況、環境基本計画など環境施策を推進する上での役割や位置づけは、どうであるか。</p> <p>(3) 本市の2030年を目指す「プラスチックごみゼロ宣言」、2050年を目指す「脱炭素宣言」のために、市民や企業の参画を含め環境基本計画でどのような方策を示すのか。</p> <p>本市の各地のまちづくりに係るいくつかの課題について問う。</p> <p>(1) 本市南部の道路整備は次第に進行しているが、今後の課題として主要地方道茨木亀岡線の蛇行箇所(東別院町東掛・小泉地区)の整備がある。これについて、トンネルの検討を含め、京都府に対する要望や取組の状況、今後の課題は、どうであるか。</p> <p>(2) 本市は、住民が共同利用する私道等の認定外道路の改良に対する補助制度を実施している。住民にとって有用な制度であるが、住民の合意形成等の課題もみられる。補助制度の概要、利用状況、今後の課題は、どうであるか。</p> <p>(3) 本市の開発公園について、その制度は今後も継続するものであるが、設置当初から歳月を経て住民の高齢化等に伴う維持管理等の課題もみられる。開発公園の概況(例えば、経過年数10年ごとの団地数・公園数)、今後の役割や維持管理の課題は、どうであるか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
9	<p>菱田 光紀 12月8日(水) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 上下水道部庁舎の移転について</p> <p>2 市民ノーマイカーDayの効果と投票率向上について</p>	<p>上下水道部庁舎移転に向けて新庁舎改修工事など準備が進められている。</p> <p>(1) 移転に向けての進捗状況は。</p> <p>(2) 跡地の利活用について、亀岡地区東部自治会から地域こん談会(文書)において、亀岡地区東部地域における防災・交流等の機能を有する公的施設(機関)の設置のための提案・要望が出されているが、実行に向けての考えは。</p> <p>(3) 文化施設として、また、子育て世代や高齢者、障がいを持つ方などが多目的に利用できる施設としての整備についての考えは。</p> <p>世界に誇れる環境先進都市の実証実験として「市民ノーマイカーDay」が実施され、コミュニティバスなどが無料乗車できる取組がなされている。</p> <p>(1) その趣旨と目的は。</p> <p>(2) 実施内容は。</p> <p>(3) 事業効果は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 選挙管理委員長 所管部長</p>

		<p>3 米農家の生産意欲を高める施策の実施について</p> <p>4 コロナウイルス感染症対策と文化継承について</p>	<p>(4) 実施しての効果と反省点は。 先般、衆議院議員総選挙が実施された。</p> <p>(5) 投票率等の状況はどうであったか。</p> <p>(6) 投票率向上のために今後どのような工夫が必要だと思うか。</p> <p>(7) 投票行動を高めるための工夫として投票所近くまで無料バスを運行してはどうか。</p> <p>今夏も不順な天候が見られたが、米の出来高はほぼ平年並みであった。一方で、米価はさらに下落して生産意欲を失う農家も出ている。</p> <p>(1) 市内における過去5年間の出来高と米価はどのように推移しているのか。</p> <p>(2) 米価が下落する中、米農家の生産意欲を高めるためどのような施策が実施されているのか。</p> <p>(3) 米農家に再生産意欲を出させる具体的な取組が必要ではないか。</p> <p>昨年来のコロナウイルス感染症蔓延を受け、亀岡市内の伝統行事継承が危機的な状況にある。</p> <p>(1) 国、府、市指定の無形文化財にはどのようなものがあるか。</p> <p>(2) その中でコロナ禍のこの2年間に実施されたものはあるのか。</p> <p>(3) 文化継承には、人材育成と資金が不可欠であり、行事实施が必要だが、そのための十分な支援はできているのか。</p> <p>(4) 地域の文化継承行事に参加している児童生徒への支援はどのようにされているか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
10	<p>木曾 利廣 12月8日(水) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>令和3年度予算編成方針から、～市民力で未来を拓く！～『健康・環境・観光 多文化共生のまち亀岡 世界に誇れる環境先進都市の実現』『SDGs未来都市』人と時代に選ばれるリーディングシティ亀岡×(かける)脱・コロナで新たな日常を切り拓く！でスタートした令和3年度を振り返って、3つの柱を基本として編成されている内容について問う。</p> <p>(1) 予算編成については、市民意見を傾聴し、市民生活の実態をしっかりと把握した上で、社会経済情勢の変化や、市民ニーズの多様化を的確に捉えるとあるが現状は。</p> <p>(2) 各々の所属を越え全庁横断的に情報や課題を共有し、既成概念を捨て柔軟な発想により、市民に真に重要かつ優先度の高い事業の選定に努めるとあるが進捗は。</p> <p>(3) スクラップ・アンド・ビルドを基本とした上で、先進的、戦略的な魅力ある事業を創造・推進するとあるが進捗は。</p> <p>(4) 3つの柱を基本とした、予算編成を推進するため、人と時代に選ばれるまち亀岡づくりに向けた施策を、「SDGs未来都市」とし</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 道路行政について</p> <p>3 LGBTQ+の取組について</p>	<p>て立ち止まることなく積極的かつ大胆に展開するため、職員力を結集し、予算要求においては、職員一人一人の知恵や工夫を集わせ、改めて執行体制、執行方法等を検証の上、従来の予算計上方法等にとらわれず、「最小の経費で最大の効果」を発揮できるよう、全力を傾注し果敢に取り組むとあるが進捗は。</p> <p>市道馬堀停車場篠線はJR馬堀駅前再開発に伴う都市計画道路であり、国道9号渋滞解消と府道王子並河線の補完道路として、市道北古世西川線の先線の充実のための大変重要な道路整備であるが、今後の進捗状況を問う。</p> <p>(1) 現在進捗している、府道王子並河線広道の交差点の整備の工事時期は。</p> <p>(2) 広道の交差点から国道9号までの整備計画期間と用地買収の進捗は。</p> <p>亀岡市パートナーシップ宣誓制度実施後、11月4日に亀岡市議会政策研究会と担当部署で明石市の視察を終えた。</p> <p>(1) 本市の今後の取組は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
11	<p>田中 豊 12月8日(水) 15:30~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>共産党亀岡市議会議員団は、11月29日市長宛てに、2022年度亀岡市予算に対する緊急対策12項目と重点要求9項目の重点要求書を提出した。これについて4点市長の所見を求める。</p> <p>(1) まず、要求書の「はじめに」では、「約2年近くにも及ぶ新型コロナウイルスの感染拡大は、市民のいのちと暮らし、生業と地域経済にかつてない深刻な影響を及ぼしています。これまでから貧困と格差が拡大されてきた上に、コロナ禍により真っ先に仕事と収入を奪われた女性や学生・若者などの生活困窮は続き、米価暴落により農家も地域そのものも存続の危機に直面しています。」としているが所見は。</p> <p>(2) 「防疫・医療体制の再構築と併せて、二次被害ともいえる地域経済・生活への深刻な影響に対するきめ細かな施策を地道にすすめるなければならない時期です。それだけにいま、従来の延長線上や国・府の枠組みにとどまらず「市民のために必要なことは徹底してやり抜く」本市の姿勢と役割が重要です。」に対する所見は。</p> <p>(3) 「コロナ禍により、長年にわたり、社会保障予算や公衆衛生をはじめ公的部門を削減し、地域経済や地方自治体にも「弱肉強食」「自己責任」を押し付けてきた国の政治の矛盾が噴出し、これまでの「新自由主義」にもとづく国の政治そのものの転換が求められています。」に対する所見は。</p> <p>(4) 「こうした状況下だからこそ、「住民福祉</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>の向上」をはたすべき自治体本来の役割を發揮することこそ求められています。本市においても、地域内再投資の循環型産業経済政策をすすめること、社会保障をはじめとした暮らし支援・底上げ策の強化により地域で住み続けられる条件を整え雇用を生み出すこと、大型開発より災害からのちと財産を守ること、住民自治を尊重し地域のコミュニティを支え支援するなどの施策が求められています。」に対する所見は。</p> <p>2 年末に向けた暮らしと営業への支援について</p> <p>3 コロナ禍による需要減等で米価下落に対する支援について</p>	<p>の向上」をはたすべき自治体本来の役割を發揮することこそ求められています。本市においても、地域内再投資の循環型産業経済政策をすすめること、社会保障をはじめとした暮らし支援・底上げ策の強化により地域で住み続けられる条件を整え雇用を生み出すこと、大型開発より災害からのちと財産を守ること、住民自治を尊重し地域のコミュニティを支え支援するなどの施策が求められています。」に対する所見は。</p> <p>コロナ禍が長期化し、暮らしと営業への支援が求められている。総務省は11月12日、自治体への支援策を発表した。その内容は、地方公共団体が原油価格の影響を受けている生活者や事業者を支援するために行う原油価格高騰対策に対し、特別交付税措置（措置率1/2）を講じるものである。総務省が対象経費の例としている次の項目に対する答弁を求める。</p> <p>(1) 生活困窮者に対する灯油購入費等の助成は。</p> <p>(2) 社会福祉施設（養護老人ホーム、障がい者施設、保育所・幼稚園等）に対する暖房費高騰分の助成は。</p> <p>(3) 公衆浴場に対する燃料費高騰分の助成は。</p> <p>農林水産省のまとめによると、9月の「相対取引価格」（60キログラム当たり）は、飲食業などへの出荷が多い銘柄を中心に昨年の9月と比べて2～3割も下落している。コロナ禍による需要減等によって米価が下落し、米作農家に大きな影響が出ている。米作農家への支援策を求める。</p> <p>(1) 大規模農家は、高齢化などで耕作が困難な農地を引き受け、地域を支えている。今回の暴落で大規模経営は大幅な減収で、赤字決算が必至である。国の収入保険や「ナラシ」（収入減少影響緩和交付金）でも十分な補填にならないのではないか。所見を求める。</p> <p>(2) 京都府議会9月定例会で、「「京の米」流通促進緊急対策事業」に1億円が追加補正されたが、この事業の内容は。</p> <p>(3) 作付面積1ヘクタール以下は対象となっていないが所見は。</p> <p>(4) JA京都の米の買入れ価格は。</p> <p>(5) 作付面積1ヘクタール以下の米農家への市独自支援策は。</p> <p>(6) 現状を打開するためには、国が過剰在庫の市場隔離、戸別所得補償制度の復活など農家の経営をしっかりと支えることが必要と考えるが所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
12	大塚 建彦 12月9日(木)	1 保津川公園の有機農業と整	サンガスタジアムの予定地として亀岡市が購入し、都市公園として整備が予定されている京	市長 所管部長

<p>10:00～</p> <p>※一問一答</p>	<p>備構想について</p> <p>2 サンガスタジアムにおける障がい者就労支援について</p> <p>3 亀岡市における文化施設の検討について</p> <p>4 エコトピア亀岡における埋立ごみの再資源化事業について</p> <p>5 JR亀岡駅南周辺地区や城下町地区商店街の活性化について</p>	<p>都・亀岡保津川公園であるが、農業体験をはじめ自然と触れ合い、親しめる場所として、亀岡市民のみならず市外からの来園者の期待に応えたいところである。</p> <p>(1) 都市公園の施設の概要は。</p> <p>(2) 完成までのスケジュールは。</p> <p>(3) 今年度から有機農法による米作りが始まったが成果と今後の支援は。</p> <p>(4) アユモドキ生息エリアの整備と環境の保全対策との関連は。</p> <p>昨年から始まった、サンガスタジアムにおける障がい者就労支援事業は、コロナ禍の影響がある中で、今年度は4回事業が行われている。12月5日は、J1昇格を決めた京都サンガF.C.の今季最終戦であり、当日は障がい者週間とも重なり、大いに注目を集めている。</p> <p>(1) 現在、作業所が中心となって人材確保を行っているが、今後の方針は。</p> <p>(2) 来季における本事業の実施規模についての考えは。</p> <p>(3) サンガスタジアムにおける就労支援事業に支援学校卒業生の、一般就労体験の場として活用してはどうか。</p> <p>令和3年5月から実施している亀岡市における文化施設のあり方を考える懇話会が11月30日で終了した。文化資料館や文化ホールと機能、目的が異なる施設の在り方について、様々な立場の委員が検討され、市民からも広く意見が寄せられた。</p> <p>(1) どのように意見を集約し、どのような提言を行うのか。</p> <p>(2) 亀岡市は、文化施設の在り方をどのように考えているのか。</p> <p>亀岡市ゼロエミッション計画に伴う埋立ごみの再資源化事業も開始から1年6カ月が過ぎ、本事業の目的達成に向けて、行政、事業者それぞれの課題が見えてきた。</p> <p>(1) 埋立てごみ削減率向上を目指した、新たな取組は。</p> <p>(2) 作業環境の安全を確保するため、事業者主体の仕様を変更する考えは。</p> <p>(3) 作業効率や再資源化を著しく阻害するパッカー車による収集を改めるべきではないのか。</p> <p>令和3年9月議会の一般質問で、城下町地区の観光と、コロナ後の商店街の活性化について質問した。第6波のコロナ感染拡大が予測される中、商店街の活性化は急務である。また、11月25日、京都府主催で「商店街ネットワークサロン@</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
----------------------------	---	---	---

			<p>南丹～商店街の未来を考える～スポーツ×商店街のこれから」と題して講演とワークショップが開催された。</p> <p>(1) 国による新たなコロナ関連支援策とは。</p> <p>(2) 中小企業や個人事業主に対する、亀岡市独自の支援策は。</p> <p>(3) 京都サンガ、商店街、行政が連携し、J1昇格を成し遂げた、京都サンガの祝勝に関連した催しができないか。</p> <p>(4) J1昇格は、来場者の増加につながり、地元商店街の活性化の切り札になると確信しているが、活性化につながる施策と課題についての考えは。</p> <p>(5) 今後、亀岡市が開催する各種イベント情報を、地元の商店街と共有する仕組みがつかれないか。</p>	
13	<p>木村 勲 12月9日(木) 10:45～</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 国道9号ダブルルート整備について</p> <p>2 本市の災害避難場所及び備蓄品の使用実態について</p> <p>3 大井町内における願成寺川の改修工事について</p>	<p>11月9日の幹事長(会派代表者)討論の際の藤本議員と市長とのやり取りが、11月10日の京都新聞朝刊において、「右京ルートは断念し国道9号整備『4車線化を』」と大きな見出しで掲載されていた。亀岡市内の交通渋滞をどのように解消し、豪雨災害時の孤立問題をどのように考えるかについて問う。</p> <p>(1) 記事の内容は国道9号ダブルルート整備促進協議会の考えなのか。</p> <p>(2) 国道9号の4車線化の範囲はどこからどこまでの構想なのか。</p> <p>(3) 4車線化は亀岡市内の交通渋滞緩和につながるのか。</p> <p>(4) 豪雨災害時に、京都縦貫自動車道が通行止めになった際に、亀岡市は孤立せず4車線は通行可能なのか。</p> <p>本市の災害時の指定緊急避難場所・指定避難所等の開設目的と実績、備蓄品の実態とこれまでの使用実態について問う。</p> <p>(1) 指定緊急避難場所・指定避難所等の種別は。</p> <p>(2) 指定緊急避難場所・指定避難所等の開設の判断基準と対応、周知は。</p> <p>(3) 備蓄倉庫の物品内容と使用実績、賞味期限切れの活用は。</p> <p>蔭田野町から大井町内に流れる願成寺川の河川改修工事について問う。</p> <p>(1) 願成寺川は、大井町西部開発等の後に遊水地が減少し大量の雨水が流れ、平成30年の台風20号による記録的な豪雨により、民家の浸水被害が発生した。今回千代川町高野林区の大規模開発により、遊水地はさらに減少し、豪雨の際の浸水被害の危険性が高まっている。桂川右岸道路の犬飼川と願成寺川をまたぐ橋梁は、犬飼川上流の若宮橋の工事でア</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 火災予防対策と消火訓練について</p> <p>5 カインズ周辺の交通渋滞及び事故防止対策について</p>	<p>ユモドキが発見され橋梁設計が変更されたと聞くと、市民の命と財産を守るための願成寺川の改修工事の予定はあるのか。</p> <p>1 1月に大井町と旭町で民家が全焼する火災があり、旭町では、住民の方がけがをされたと聞くが、本市の火災予防対策と消火訓練について問う。</p> <p>(1) 過去3年及び今年度の本市の火災発生件数と被害状況は。</p> <p>(2) 火災予防マニュアルや初期消火マニュアル等はあるのか。</p> <p>(3) 火災が発生した際は初期消火活動が重要と考えるが、本市の消火訓練の実態は。</p> <p>(4) 消火栓及び防火水槽の設置数は妥当なのか。</p> <p>令和3年9月議会で質問したカインズ周辺の渋滞及び事故防止対策について問う。</p> <p>(1) 市道から国道につながる交差点の信号には、右折矢印がついておらず、大井町自治会より、令和3年9月議会後に要望が出されているが、完成予定は把握しているのか。</p> <p>(2) 交通渋滞対策及び事故防止対策はどうなったのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
14	<p>三上 泉 12月9日(木) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 子育てしやすいまちづくりについて</p> <p>2 空き家の活用について</p>	<p>合計特殊出生率が常にトップクラスの平均2.8人台、一昨年には2.95人を達成した岡山県奈義町に、会派として視察したことがある。規模の小さい町であるので、全てが、亀岡市に適用できるわけではないが、大いに参考になるのではないかと考える。</p> <p>(1) 住んでみたい家がある、自分たちにも住める場所があるというのは一つの魅力である。子育て世代をターゲットにした、戸建ての市営住宅など、視野を広げて、移住・定住促進のための住居提供を戦略的に行う考えは。</p> <p>(2) トカイナカの魅力を出した、中山間地域などでの居住促進や、仕事を生み出す施策をもっと充実させてはどうか。</p> <p>(3) 子育て世代の交流の場や、先人の知恵を授かる高齢者との交流の場、子育て相談の場、ちょっと子どもを見てくれる「一時預かりの場」などを、地域コミュニティとして担うことに、市が積極的に支援してはどうか。</p> <p>前項の子育て世代の支援の場に加えて、高齢者が気軽に集える場や、趣味や文化活動に使える場として、空き家の活用に注目したい。</p> <p>(1) 本市における空き家の状況は。</p> <p>(2) 空き家を上記のような活動の場に活用している例はどの程度あるか。</p> <p>(3) 市が積極的に、空き家の寄附受付、賃貸、</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 本市の教育条件整備について</p>	<p>買取りなどを含めて、自治会や各種サークル・団体などと協力して、空き家の活用に取り出し、場の設定を促進してはどうか。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策に追われたこの間、学校での予算執行や児童生徒への指導内容、教職員の働き方には、多くの変化が見られたことと思う。コロナ禍の教訓を生かしつつ、今後の教育条件の整備について、様々な視点からの検討が必要と考える。</p> <p>(1) G I G Aスクール構想によるタブレット端末導入とそれを活用した学習指導における現状と課題は。</p> <p>(2) 燃料の高騰が懸念されるが、これからの冬季における暖房対策の現状と課題は。</p> <p>(3) 市単費の支援員等の配置で努力されている一方で、府任用の正規枠が恒常的に不足している現状が続いていると聞くが、他府県に比べて学校への配置基準が少ないことを改善すること(専科教員等の配置、担任の代替ができる正規教員等)を、京都府に対して、今こそ強く求めるべきであると考えが所見は。</p> <p>(4) 前項も含めて、教職員の、人員の確保と長時間過密勤務の解消の具体的対策は。</p> <p>(5) 安心して登下校できる歩行者専用の道路の設置など、幹線道路と生活道路の機能分化については、内閣府の関係閣僚対策会議でも示されたが、国にも補助を求めて、条件が合うところから具体的に実行していくべきではないか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
15	<p>浅田 晴彦 12月9日(木) 13:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 亀岡市消防団員の処遇改善及び今後の活動方針について</p> <p>2 亀岡川東学園後期課程の部活動について</p> <p>3 家電リサイクル及びリサイ</p>	<p>消防団は地域の消防防災体制の重要な役割を担っているが、近年、団員数が減少していることから、国において消防団員の処遇及び訓練の在り方について検討する「消防団員の処遇等に関する検討会」により、最終報告書が取りまとめられた。今後の亀岡市の対応について問う。</p> <p>(1) 消防団員の処遇改善についての対応は。</p> <p>(2) 最終報告書では、地域の実態に即した災害現場で役立つ訓練や、ポンプ操法大会の在り方などについても見直しを行うことが示されているが、本市の考えは。</p> <p>現在、亀岡川東学園の地元地域を拠点に活動している小学生のサッカーチームがあるが、後期課程に進んでもサッカーを続けたいという声がかれまでも上がっている現状がある。</p> <p>(1) 亀岡川東学園後期課程にサッカー部をつくることはできないか。</p> <p>環境施策で進められている家電リサイクル及びリサイクル資源回収の取組について、制度が分</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>クル資源回収について</p> <p>4 学校教育について</p> <p>5 YouTubeチャンネルKCOTについて</p>	<p>かりにくい部分があるが、今後の対応策について問う。</p> <p>(1)現在行われている家電回収の実施方法と現状は。</p> <p>(2)企業の協力の下で、ステンレスボトル回収が実施されているが、これまでの成果は。また、今後の取組の強化は考えているのか。</p> <p>薬物乱用が日本国内でも深刻な社会問題となる中、薬物を許さない社会環境を目指し強化していく取組の実施について問う。</p> <p>(1)学校教育の一貫として、夏季休業等の長期休業期間や中学に進級する前などに、毎年定期的に薬物に関する講習会や講演会など、保護者も含めて実施する取組をしてはどうか。</p> <p>亀岡市が広報で活用しているYouTubeチャンネルKCOTをさらに広げていく施策について問う。</p> <p>(1)ガレリアかめおかの空きスペースにピアノ演奏が可能な場所をつくり、動画配信してはどうか。</p>	<p>教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
16	<p>松山 雅行 12月9日(木) 14:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 通学路の安全対策について</p> <p>3 川の駅・亀岡水辺公園の整備について</p>	<p>本市には、これからの人口減少・少子高齢化社会の進行に伴い、スクラップ・アンド・ビルドを加速させ、安定した行政基盤づくりを推し進めていくことが求められている。また、本市は地の利を生かし阪神地域や京都中部地域と連携・協力して行政課題・地域課題に対応し、観光振興にもつなげていくことが重要と考えるが、市長の政治姿勢について問う。</p> <p>(1)阪神地域との連携・協力についての考えは。</p> <p>(2)本市と隣接している北摂地域との連携・交流についての考えは。</p> <p>(3)国道423号をはじめ、重要物流道路(代替・補完路)指定に向けて連携する考えは。</p> <p>(4)人流促進(観光振興)についての考えは。</p> <p>(5)地域防災力の強化について、連携の考えは。</p> <p>市道小川今津1号線(JR千代川駅東側の道路)は朝晩に駅まで送迎する車両をはじめ、幼稚園まで送迎する車両、通学する児童生徒たちが多いことから、従前より対策を実施いただいている。今後の対策について問う。</p> <p>(1)本市道は、一部30キロメートル規制がなされ、延伸したいと地域要望があるが、どうか。</p> <p>(2)具体的にどのような安全対策が考えられるか。</p> <p>令和4年4月から新たに指定管理者による運営がなされると聞いており、施設前の道路の拡幅整備も準備を進めていただいている。施設オープ</p>	<p>市長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		4 教育環境の整備について	<p>ン前に心配な点を整理しなければいけないと考える。</p> <p>(1) 令和3年9月議会で質問のあった、スロープ設置も含めた京都府との協議の進捗は。</p> <p>本市は、かめおか多文化共生センターを整備するなど、市内在住外国人に寄り添った支援を行っている。外国につながる児童生徒や保護者にも優しい共生社会のさらなる充実と教育環境について問う。</p> <p>(1) 市内在住外国人の人数は。</p> <p>(2) 日本語指導教室が必要と考えるが、見解は。</p> <p>(3) やさしい日本語の活用を広げる考えは。</p> <p>(4) 学校から保護者に配布される文書やメールもやさしい日本語にしてはどうか。</p>	市長 所管部長
17	奥野 正三 12月9日(木) 15:30~ ※一問一答	1 人口減少について	<p>全国で人口が減少している中、都市間での人口の奪い合いとなっている。若者が亀岡に住み、地元の企業に就職できる、また、地元で安心して子どもを産み育てることができるまちなししなければならない。しかし、広報かめおかによると、本市の人口と世帯数が毎月のように減少となっており、何らかの対策を打たなければと考える。本市がこれまでに取り組んできた対策と今後の対応について問う。</p> <p>(1) 人口減少に対してこれまで行ってきた施策は。</p> <p>(2) 転出者が毎月あるが、考えられる理由は。</p> <p>(3) 本市としてこれからの人口減少対策の核となる施策は。</p> <p>(4) 人口を増やすには転入もあるが、本市で結婚し産み育てることが不可欠と考える。その環境づくりは。</p> <p>(5) 高齢になっても安心して暮らせることも人口減少に不可欠と考えるがどうか。</p> <p>(6) いろいろな施策の効果が出るのは相当の時間がかかると考えられるが、長期的な取組は。</p>	市長 所管部長
		2 子どもの遊び場について	<p>本市は子どもがボールを使って遊んだり、スポーツのできる公園や場所が少ないと考える。</p> <p>(1) 本市にボール遊びやスポーツのできる公園は何か所あるのか。</p> <p>(2) 町別の公園数は。</p> <p>(3) 地域によって子どもの遊び場や公園等の数・面積に格差があると考えられるが、その認識は。</p> <p>(4) 休日の小・中学校の運動場の利用が各学校により違うようであるがなぜか。開放はできないのか。</p>	市長 所管部長
		3 学校規模適正化について	<p>令和3年9月議会で亀岡市立中学校設置条例の一部改正案が賛成多数で可決され、令和5年か</p>	市長 所管部長

		<p>ら別院中学校が南桑中学校に編入されることになった。今後も児童生徒数の増減による規模適正化が進められると考える。</p> <p>(1) 今後適正化を進めようと考えている小・中学校はあるのか。</p> <p>(2) あるとすれば、どの校区か。</p> <p>(3) 進めるには保護者や住民と十分協議を重ね、これまでの適正化問題で得た教訓を十分考慮し対応すべきと考えるが所見は。</p>	市長 所管部長
	4 有害鳥獣について	<p>有害鳥獣による農作物への被害が後を絶たない。また、イノシシや熊が人を襲う事件や大型獣が原因の交通事故が発生している中での現状と対応について問う。</p> <p>(1) 本市では大型獣による交通事故等が発生しているか。また、発生しているとすればここ数年の件数は。</p> <p>(2) ここ数年の被害額と有害鳥獣の捕獲数は。</p> <p>(3) 有害鳥獣による農作物への被害状況は。</p> <p>(4) 被害対策や有害鳥獣の駆除はどのように対応しているのか。</p> <p>(5) 農作物を鳥獣被害から守る防護柵の資材等の支援は行われているのか。</p> <p>(6) 農家の自主防除が基本となっているが、高齢化が進む中自主防除ができなくなることが予想されるがその対策は。</p> <p>(7) 捕獲数を上げるための取組は。</p> <p>(8) 有害鳥獣の捕獲の補助金を増額すべきと考えるが、近隣市町と本市の捕獲鳥獣補助金の額は。</p> <p>(9) 捕獲後の処理方法は。</p> <p>(10) 委託している猟友会の方も高齢化が進んでいると聞くが、今後の新たな対策は検討しているのか。</p>	市長 所管部長
	5 水管橋について	<p>安全で安定した水道水の供給と地震などの災害への備えとして、管路の耐震化が進められている中で、水管橋について問う。</p> <p>(1) 本市の水管橋は何か所あるのか。</p> <p>(2) 水管橋の維持・管理の状況は。</p> <p>(3) 水管橋に架かる水管の耐用年数は。</p> <p>(4) 現時点で架け替えを要する水管はあるのか。</p>	市長 所管部長
18	<p>竹田 幸生 12月10日(金) 10:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 高齢者救急医療情報について</p> <p>平成21年に高齢者の救急時の医療情報の在り方が議員より提案され、命のカプセルが誕生し現在に至っている。</p> <p>(1) 命のカプセルとはどのようなものか。</p> <p>(2) これまでの配布実績は。</p> <p>(3) 成果も過去に報告されたが現状は。</p> <p>(4) 新たに携帯できるカード状の救急医療カードを導入しては。</p>	市長 所管部長

		<p>2 地域包括支援センターについて</p> <p>3 ジャンボタニシ（スクミリンゴガイ）対策について</p> <p>4 川の駅・亀岡水辺公園の環境整備について</p>	<p>中部地域包括支援センターが4月から再び設置されている。今年度は、例外的処置が一部されているが、令和4年度に向けて正常な状態での運営が望まれる。令和3年度亀岡市地域密着型サービス運営委員会及び亀岡市地域包括支援センター運営協議会（第1回会議）を踏まえて確認する。</p> <p>（1）圏域における実績は。</p> <p>（2）職員配置の課題解決の見通しは。</p> <p>（3）設置場所の課題解決の見通しは。</p> <p>（4）他の包括支援センターとの格差感が問われているがどうか。</p> <p>昨年度に比べて今年度は、行政や各種団体等の啓発や各農家の防除取組が行われた。</p> <p>（1）どのような取組がされたのか。</p> <p>（2）被害状況はどうであったのか。</p> <p>（3）国の消費・安全対策交付金事業はどのように活用されたのか。</p> <p>（4）冬場の防除に向けた圃場管理の勧奨は行っているのか。</p> <p>川の駅・亀岡水辺公園では、市民、地元小学校等と様々な試行的な取組をされ、本格的運用を目指している。</p> <p>（1）月読橋から施設までの市道拡幅の進捗は。</p> <p>（2）亀岡市が京都府から占用し、利用範囲としているところは整備されているが、もう少し管理範囲を広げてはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
19	<p>齊藤 一義 12月10日(金) 10:45~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 職員の働き方改革について</p> <p>2 盛土災害について</p>	<p>市職員の働き方改革については、今まで様々な取組をされてきたが、働きやすい環境であるワークライフバランスが取れた職場づくりには、まだまだ改革が不十分であると感じる。</p> <p>（1）職員1人当たりの時間外勤務時間（年平均）は。</p> <p>（2）職員の年次休暇取得率は。</p> <p>（3）夏季休暇の取得率は。</p> <p>（4）職員の育休取得率は。</p> <p>（5）（仮称）働き方改革ワーキングチームを創設しては。</p> <p>（6）市長自ら率先して休暇を取るべきと考えるがどうか。</p> <p>（7）ウィズコロナ時代の対策として、暑さ・寒さ・電気料金を鑑み、職員の服装（襟なしにする等）を自由にはどうか。</p> <p>静岡県は、本年7月3日熱海市伊豆山土砂災害による死者が26名、負傷者が3名、建物損壊が128棟の大災害となったことを受け、盛土造成の規制強化として、地方自治法の上限（罰則の適用を懲役2年以下または罰金100万円以下）に引き上げる方針を示した。また、3年前に崩落があった京都市伏見区では、指導していたが、事業</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 市役所地下の開かれたアトリエについて</p> <p>4 亀岡運動公園の利活用について</p> <p>5 ICT教育について</p>	<p>者は搬入し続け、今年再び崩落した。</p> <p>(1) 事業者に対して指導ではなく、残土等の搬入を強制的に差止めできるような条例をつくるように、京都府に要望すべきでは。</p> <p>市役所地下の開かれたアトリエは、明るくおしやれになり、以前より多くのお客様でにぎわっており、今議会でも時間当たりの貸出料金が提案されている。しかし、店内はよくなったが、景観がよいとはいえない。</p> <p>(1) 草花や樹木もよいが、維持管理を考えると彫刻などのオブジェを置いて、利用者を楽しんでもらい、利用客増を図ってはどうか。</p> <p>亀岡運動公園では指定管理者の下、かめプーフィッシングパークなど、様々な利活用を図っているが、さらなる利活用に向けて、亀岡市都市公園条例の改正が必要と考える。</p> <p>(1) クニッテルウッドランドやスティルウォーターランドで、キャンプを可能にする考えは。</p> <p>(2) キャンパーを乗り入れたり、かめプーで釣った魚を焼いて食べられる等、火器が使用できる場所を設定できないのか。</p> <p>令和3年4月から、みらい教育リサーチセンターを開設し、市内小・中学校の児童生徒全員にタブレットを配付し、国のGIGAスクール構想を進めているが、機材はそろっても有効活用するツールが大切と考える。また、ICT教育で、教職員の働き方改革につなげることも大変大事なことと考える。</p> <p>(1) モデル校のみではなく、授業支援ソフトを全校に導入してはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
20	<p>平本 英久 12月10日(金) 13:00~</p> <p>※一問一答</p>	<p>1 都市公園等の整備について</p> <p>2 環境先進都市としての取組や政策について</p>	<p>これまで都市公園を含め多くの公園整備を行ってきたが、本市が考える公園の在り方について問う。</p> <p>(1) 市民からはボールが使用できる公園の必要性が訴えられてきたが、整備に向けた考えは。</p> <p>(2) 新型コロナの影響もあり、市民から公園に、屋外でトレーニングに使える健康遊具の設置を望む声があるが、本市の設置状況と今後の取組は。</p> <p>本市はこれまでも環境先進都市として取り組んできたが、今後の取組について問う。</p> <p>(1) ポイ捨ての削減に向けた使用済みペットボトルの回収に係る取組の進捗は。</p> <p>(2) エコウォーカーの取組状況と今後の展開は。</p> <p>(3) 一部地域で試験的に行ってきた、ごみ出し</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 サンガの試合時の交通安全対策について</p>	<p>支援の検証と今後の取組は。 (4) 指定ごみ袋の基準や容量について、利用しやすいよう改善を考えているのか。</p> <p>これまでも対策を検討してきたサンガの試合時に発生する交通渋滞や交通安全対策について問う。 (1) これまでのホームゲーム時にも交通渋滞が発生し、市民生活に支障が出ていると思うが、サンガのJ1昇格に伴い、どのように交通渋滞対策をしていくのか。 (2) ホームゲーム時は、これまで以上に双方のサポーターが本市に訪れることが考えられる。今後、人流をコントロールする必要があるが対策は。 (3) 今後は、これまでのサポーターの受入対策では不十分だと考えるが、現時点でどこまで対策を検討しているのか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
		<p>4 篠町の区画整理事業について</p>	<p>現在篠町において進められている区画整理事業の現状と課題について問う。 (1) 区画整理事業地内の工業エリアにおける企業誘致の現状と今後の見通しは。 (2) 工業団地の完成に伴い、今後必然的に交通量の増加が考えられるが、新たな信号設置や通学路の安全対策などは考えているのか。</p>	<p>所管部長</p>